内閣府令和2年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等 に関する調査

調査結果報告書 (概要版)

2020 年 11 月 30 日 株式会社浜銀総合研究所

調査の概要

(1)調査の目的

本調査は、2020 年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の実態を把握することにより、2021 年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

(参考) 就職・採用活動開始時期の変更経緯(大学4年生の場合)

	広報活	動開始	採用選考活動開始
2014 年度卒業者	3 年生 1	2月	4 年生 4 月
2015 年度卒業者	3 年生	3月	4 年生 8 月
2016 年度卒業者	3 年生	3月	4年生6月
2017 年度卒業者	3 年生	3月	4年生6月
2018 年度卒業者	3 年生	3月	4年生6月
2019 年度卒業者	3 年生	3月	4 年生 6 月
2020 年度卒業者	3 年生	3月	4 年生 6 月

(2)調査の実施方法

対象:大学4年生、大学院2年生

(医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科、海外からの留学生を除く。)

方法:インターネット調査。60 程度の大学から所属対象学生に案内。 期間:2020年7月22日~8月21日(8月1日時点の状況を回答)

(3)有効回答件数

大学 4 年生 : 5,643 名

大学院 2 年生: 1,679 名 合計 7,322 名

- (注) この資料中、「2019 年度調査」とあるのは、内閣府令和元年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2018 年度調査」とあるのは、内閣府平成 30 年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2017 年度調査」とあるのは、内閣府平成 29 年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2016 年度調査」は、内閣府平成 28 年度委託事業「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」、「2015 年度調査」は、内閣府平成 27 年度委託調査事業「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」を指す。なお、2016年度調査~今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。
- (注) 2015 年度調査~2017 年度調査については、原則として大学4年生と大学院2年生の集計を別々に行っていたが、本調査では、2018 年度調査・2019 年度調査と同様に、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計も行い、結果を掲載した。なお、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計を行う際には、学校基本調査の在学者数を基にしたウエイトによりデータの補正を行っている。
- (注) 原則として「就職活動を行った(終えた)」又は「就職活動を行っている(継続している)」と回答した 者が集計対象であるが、一部の回答者を除いて集計をしている設問がある。インターンシップに関す る設問には「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。

本調査のまとめ

①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について

<u>~企業説明会等の延期・中止による情報収集不足や、見込んでいたスケジュールとズレが生じるなど、就職活</u> 動への影響が見られた

就職活動全般について新型コロナウイルス感染症の影響を受けたかについて「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約8割となっている(p.4)。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて課題になったこととして、「企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点がなくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった」が約6割となっている。また、「移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった」が約5割、「予定の変更・中止等が頻繁にあり、スケジュール管理が難しかった」が約4割となっている(p.5~6)。

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施時期を遅くする企業があり混乱した」と認識している回答も約7割となっており(p.7)、想定通りに就職活動が進まなかったことによる混乱もあったとみられる。

また、今年度調査時点で内々定を受けたと回答する割合が過年度調査と比較して低くなっており (p.8)、内々定の獲得状況・獲得時期に関しても新型コロナウイルス感染症の影響が及んだものと考えられる。

②面接等のオンライン化の状況について

~採用面接は多くがウェブ等で実施された

企業説明会やセミナー等への参加方法について、学生が参加した件数に占める「ウェブ等のみでの参加」の割合は、約5割となっている (p.9)。同様に、学生が受けた採用面接の件数に占める「ウェブ等のみでの実施」の割合は、約6割となっている (p.10)。

なお、これに伴う課題として、「通信回線が不安定で、企業説明会や面接の途中で音声・映像が途切れるなどしたことがあった」との回答割合が約4割となっている (p.5~6)。

③就職・採用活動の動きについて

~就職・採用活動の開始時期は早期化の傾向が継続していた

広報活動開始時期は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降とされているところではあるが、企業説明会やセミナー等への最初の参加時期を卒業・修了前年度の「9月以前」とする回答割合が上昇している (p.13~15)。

採用選考活動開始は卒業・修了年度の6月1日以降とされているところであるが、「最初に受けた面接の時期」は、過年度と比較して、2月以前の割合が上昇し、累計でみると4月までに約9割の学生が面接を受けるなど、早期化の傾向がみられている(p.19~21)。なお、採用面接の「ピーク」と「最後」に関しては、過年度調査と比較して、より遅い時期の回答割合が若干上昇しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、時期の後ろ倒し等の見直しがあったものと考えられる。

内々定の時期については、過年度よりも早い時期の回答と、若干遅い時期の回答との両方が認められる (p.22~23)。

④インターンシップについて

~参加する学生の割合は上昇傾向が続いており、参加時期も早くなっている

インターンシップについては、「参加したことがある」との回答割合が約8割、特に「複数回参加したことがある」との回答割合が約6割となっており、2019年度調査よりも上昇している(p.25)。参加時期としては大学3年生時・大学院1年生時の「7月~9月」が最も多くなっており、「7月~9月」「10月~12月」の回答割合が過年度よりも上昇している(p.26)。

参加したインターンシップが半日間又は1日間のプログラムである割合は、年々増加してきたが、今年度は2019年度と同程度になっている(p.27~28)。また、参加したインターンシップについて「採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた」との回答割合は約3割となっており、2019年度調査と比べると割合が若干上昇している(p.29)。

⑤就職・採用活動の設定時期について

<u>〜就職・採用活動の時期が昨年度と同じ時期に設定されたことについては、学生から肯定的な回答が多く、</u> ルールが必要との回答割合も高い

今年度の就職・採用活動日程(広報活動開始:卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始:卒業・修了年度の6月1日以降)について、今年度に就職活動を行った現在の大学4年生及び大学院2年生の多くは、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」などの点で肯定的な認識を示している (p.30~31)。

また、いわゆる「就活ルール」について、「ルールは必要ない」の回答割合が 2019 年度調査と比較して 上昇してはいるものの、回答者全体の約7割の学生が「ルールが必要」と回答し、回答者全体の約4割が 「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」と回答している(p.32)。

広報活動開始時期前の、卒業・修了前年度2月までの時期に関して、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は8割以上と高く(p.33~34)、時期設定がなされていることについて一定の効果が認められる結果となっている。

⑥企業からの学修活動等への配慮の状況について

~企業による学業等への配慮は一定程度なされており、改善の傾向がみられる

企業から学生の学修活動等への配慮の状況に関して、これまでの調査と同様に、いくつかの点で状況の 改善が認められている。

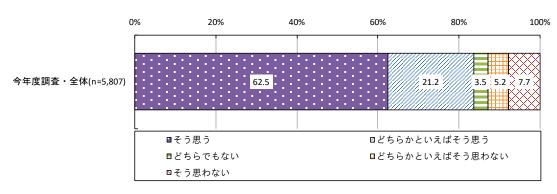
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によるスケジュールの変更等が行われた中で、「説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったか」や「個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったか」については、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は2019年度調査と比較して上昇している(p.35~36)。

いわゆる「オワハラ」(例えば、内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるよう強要された、など)を受けた割合は、2015年度以降改善の傾向がみられ、内々定を受けた学生の約9%となっている(p.37)。また、就職活動の過程においてセクシュアルハラスメント行為を受けたことが「ある」と回答している学生は約2%となっている(p.38)。

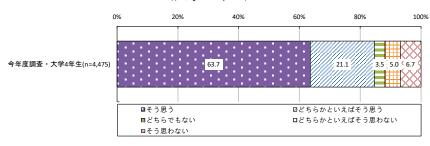
就職活動全般に対する新型コロナウイルス感染症の影響

就職活動全般について新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うかについて、約8割が「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」との回答であった。

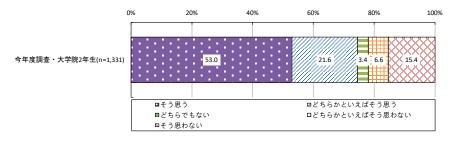
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

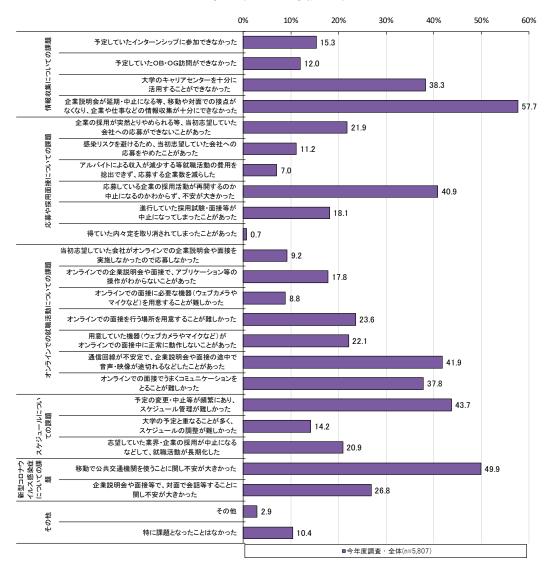


新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

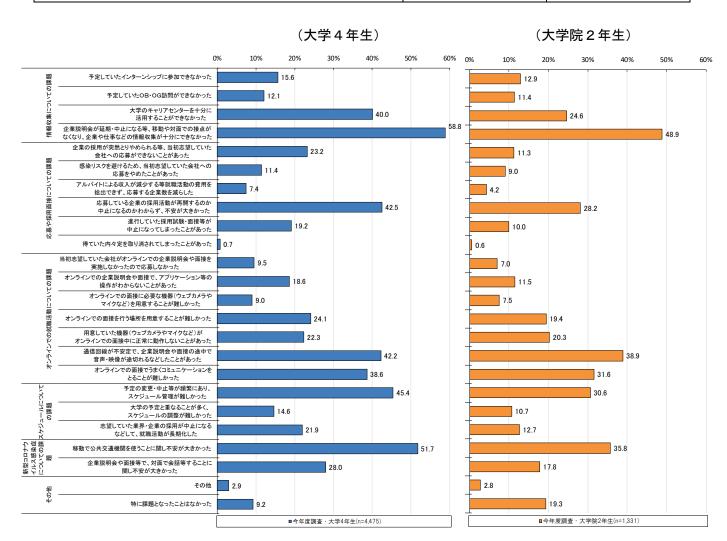
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、課題になったこととして、「企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点がなくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった」との回答割合が約6割と最も高かった。

調査項目	大学4年生・大学院2年生全体の回答
企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点がなくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった	57.7%
応募している企業の採用活動が再開するのか中止になるのか わからず、不安が大きかった	40.9%
通信回線が不安定で、企業説明会や面接の途中で音声・映像 が途切れるなどしたことがあった	41.9%
予定の変更・中止等が頻繁にあり、スケジュール管理が難し かった	43.7%
移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった	49.9%

(大学4年生・大学院2年生)



調査項目	大学4年生の回答	大学院2年生の回答
企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点がなくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった	58.8%	48.9%
応募している企業の採用活動が再開するのか中止になるのか わからず、不安が大きかった	42.5%	28.2%
通信回線が不安定で、企業説明会や面接の途中で音声・映像 が途切れるなどしたことがあった	42.2%	38.9%
予定の変更・中止等が頻繁にあり、スケジュール管理が難し かった	45.4%	30.6%
移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった	51.7%	35.8%

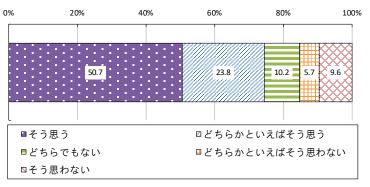


就職活動時期に関する新型コロナウイルス感染症の影響

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施時期を遅くする企業があり混乱した」ということについて、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」との回答割合は約7割であった。

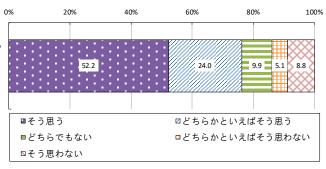
(大学4年生・大学院2年生)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する 観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、 見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施 時期を遅くする企業があり混乱した (今年度調査・全体、n=5,807)



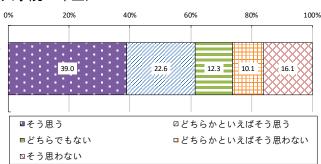
(大学4年生)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する 観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、 見込んでいた時期よりも就聴・採用活動の実施 時期を遅くする企業があり混乱した (今年度調査・大学4年生、I=4,475)



(大学院2年生)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する 観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、 見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施 時期を遅くする企業があり混乱した (今年度調査・大学院2年生、n=1,331)

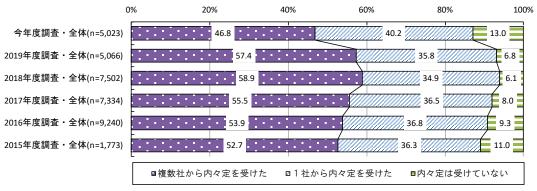


調査実施時点での内々定の状況

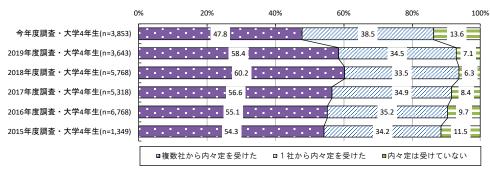
内々定の状況について、調査実施時点で約9割が内々定を受けている状況にある。

過年度調査と比較すると、調査実施時点で内々定を受けたと回答する者全体の割合が今年度調査では低くなっている。また、内々定を受けた者については、「1 社から内々定を受けた」の回答割合は高くなっており、「複数社から内々定を受けた」の回答割合が低くなっている。

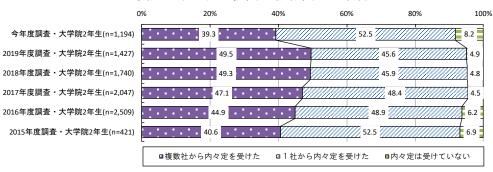
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



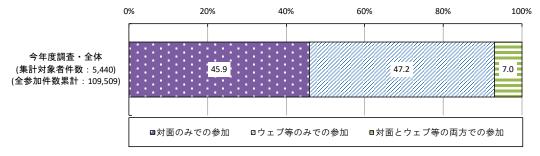
(注) 公務員や教職員志望者は除いて集計した。

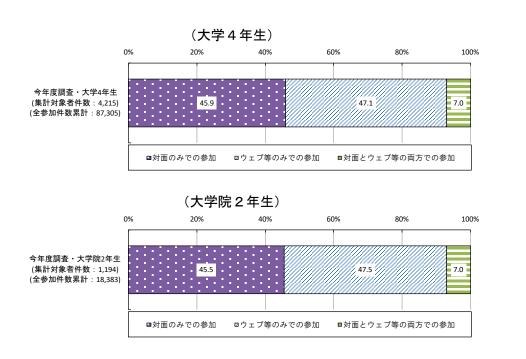
企業説明会やセミナー等への参加方法

すべての企業説明会やセミナー等の数に占める、参加方法別の件数の割合を集計すると、「ウェブ等のみでの実施」が約5割となっている。

全実施件数に占める各参加方法の割合 (採用面接の実施件数累計による集計)

(大学4年生・大学院2年生)





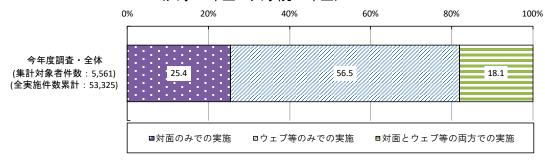
(注) 全参加件数累計は、各方法で参加したと回答した件数を合計した数。

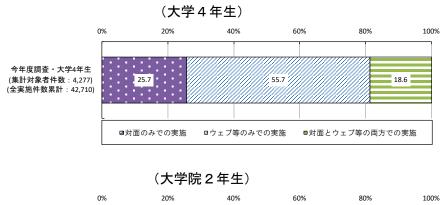
採用面接の実施方法

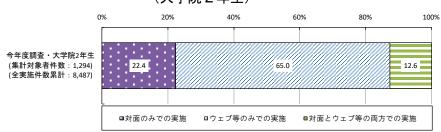
すべての採用面接の数に占める、実施方法別の件数の割合を集計すると、「ウェブ等のみでの実施」が約6割となっている。

全実施件数に占める各参加方法の割合 (採用面接の実施件数累計による集計)

(大学4年生・大学院2年生)







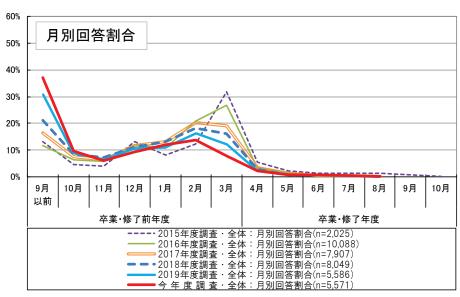
(注) 全実施件数累計は、各方法で実施したと回答した件数を合計した数。

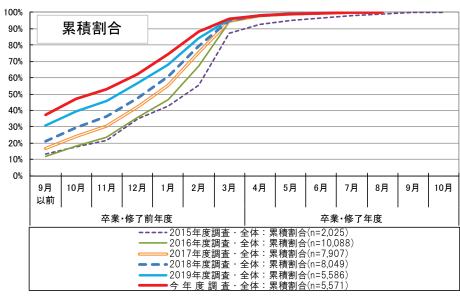
業界や企業に関する分析を開始した時期

業界や企業に関する分析を開始した時期について、卒業・修了前年度の9月以前の回答割合が約4割と最も高くなっている。

2015年度~2019年度と比較すると、広報活動開始時期前の卒業・修了前年度の9月以前の回答割合が上昇し、全体的に分析の開始時期が若干早まっており、より早期に準備を行う傾向がみられる。

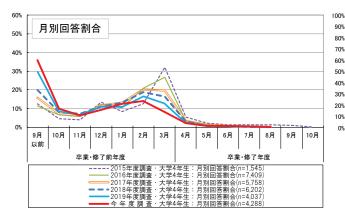
(大学4年生・大学院2年生)

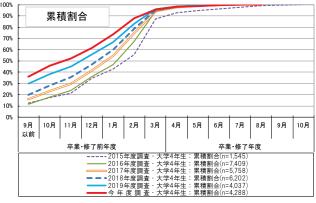




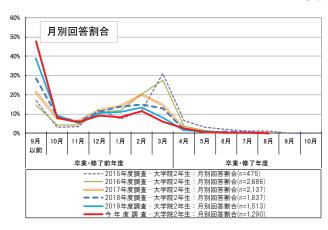
- (注1)業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外としている。
- (注2) 2015 年度~2018 年度の調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2019 年度・今年度調査では卒業・修了前年度の「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。ただし、2015 年度~2018 年度の調査との比較を行う上で、卒業・修了前年度の「6月以前」「7月」「8月」「9月」の回答を卒業・修了前年度の「9月以前」として再集計をしている。

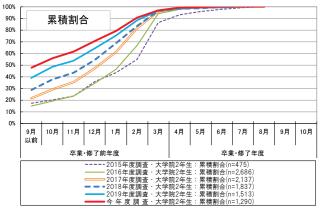
(大学4年生)





(大学院2年生)





(大学4年生・大学院2年生)

	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	16.3%	7.9%	7.6%	5.5%	9.7%	6.2%	9.2%	12.1%	13.6%	7.9%	2.1%	0.7%	0.7%	0.4%	0.0%
累積割合	16.3%	24.2%	31.7%	37.2%	46.9%	53.1%	62.3%	74.4%	88.1%	95.9%	98.1%	98.8%	99.5%	100.0%	100.0%

(大学4年生)

	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	14.6%	7.8%	7.9%	5.5%	9.9%	6.2%	9.2%	12.6%	13.9%	8.1%	2.1%	0.7%	0.8%	0.5%	0.0%
累積割合	14.6%	22.4%	30.4%	35.9%	45.8%	52.0%	61.2%	73.8%	87.7%	95.9%	97.9%	98.7%	99.5%	100.0%	100.0%

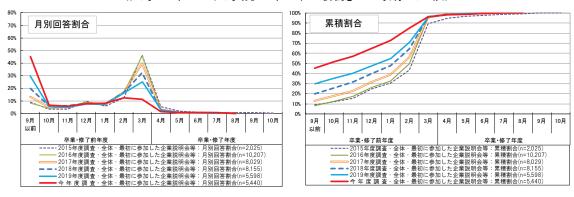
(大学院2年生)

	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	28.9%	8.6%	4.9%	5.3%	8.0%	5.8%	9.2%	8.3%	11.6%	6.0%	2.5%	0.6%	0.2%	0.1%	0.0%
累積割合	28.9%	37.5%	42.4%	47.7%	55.7%	61.5%	70.7%	79.0%	90.6%	96.6%	99.1%	99.6%	99.9%	100.0%	100.0%

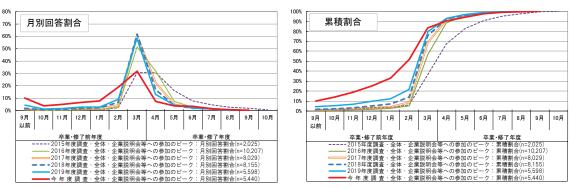
<u>企業説明会やセミナー</u>等への参加時期

企業説明会やセミナー等への参加の時期について、「最初」の時期は 2019 年 6 月以前の回答割合が約 2 割と最も高く、「ピーク」と「最後」の時期は 2020 年 3 月の回答割合が最も高い。2015 年度~2019 年度の調査と比較すると、広報活動開始前の時期の回答割合が高くなっており、全体的に参加時期が早まっている。

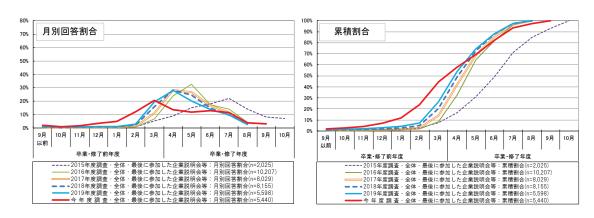
(大学4年生・大学院2年生、「最初」の時期の比較)



(大学4年生・大学院2年生、「ピーク」の時期の比較)

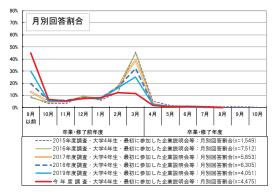


(大学4年生・大学院2年生、「最後」の時期の比較)

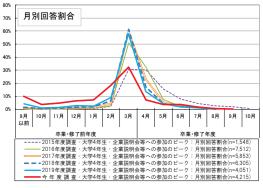


- (注1) 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外としている。
- (注2) 2015 年度~2018 年度の調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2019 年度・今年度調査では卒業・修了前年度の「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。ただし、2015 年度~2018 年度の調査との比較を行う上で、卒業・修了前年度の「6月以前」「7月」「8月」「9月」の回答を卒業・修了前年度の「9月以前」として再集計をしている。

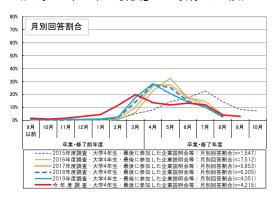
(大学4年生、「最初」の時期の比較)



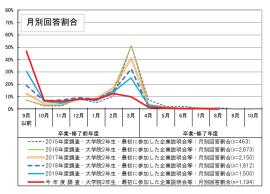
(大学4年生、「ピーク」の時期の比較)



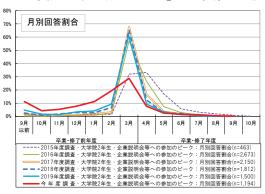
(大学4年生、「最後」の時期の比較)



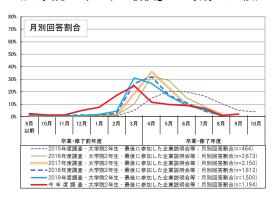
(大学院2年生、「最初」の時期の比較)



(大学院2年生、「ピーク」の時期の比較)



(大学院2年生、「最後」の時期の比較)



(大学4年生・大学院2年生)

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	20.5%	9.7%	10.3%	4.6%	6.5%	5.6%	7.6%	7.9%	12.3%	11.3%	1.6%	0.8%	0.8%	0.5%	0.0%	_
累積割合	20.5%	30.2%	40.4%	45.1%	51.6%	57.2%	64.8%	72.8%	85.0%	96.4%	97.9%	98.7%	99.5%	100.0%	100.0%	_
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.9%	1.8%	4.1%	2.2%	3.9%	4.8%	6.5%	7.6%	18.6%	31.9%	7.1%	3.7%	3.5%	1.5%	0.5%	0.3%
累積割合	1.9%	3.7%	7.8%	10.0%	13.9%	18.7%	25.2%	32.8%	51.5%	83.3%	90.5%	94.2%	97.7%	99.2%	99.7%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.6%	0.4%	0.3%	0.5%	0.9%	1.5%	3.2%	4.7%	12.0%	20.3%	13.5%	11.7%	12.7%	11.3%	3.7%	2.8%
累積割合	0.6%	0.9%	1.3%	1.7%	2.6%	4.1%	7.2%	12.0%	24.0%	44.3%	57.8%	69.5%	82.2%	93.4%	97.2%	100.0%

(大学4年生)

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	20.1%	9.9%	10.5%	4.4%	6.5%	5.5%	7.5%	8.0%	12.3%	11.5%	1.6%	0.8%	0.8%	0.5%	0.0%	_
累積割合	20.1%	30.0%	40.5%	44.9%	51.4%	56.9%	64.5%	72.5%	84.7%	96.2%	97.8%	98.6%	99.4%	100.0%	100.0%	_
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.7%	1.8%	4.2%	2.2%	3.8%	4.7%	6.4%	7.2%	18.6%	32.2%	7.1%	3.9%	3.8%	1.6%	0.5%	0.3%
累積割合	1.7%	3.5%	7.7%	9.9%	13.7%	18.5%	24.9%	32.0%	50.6%	82.8%	89.9%	93.8%	97.5%	99.1%	99.7%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.5%	0.4%	0.3%	0.4%	0.8%	1.5%	3.0%	4.4%	11.4%	19.8%	13.7%	11.9%	13.1%	11.8%	4.1%	2.9%
累積割合	0.5%	0.9%	1.2%	1.6%	2.4%	3.9%	6.8%	11.2%	22.7%	42.4%	56.1%	68.1%	81.2%	93.0%	97.1%	100.0%

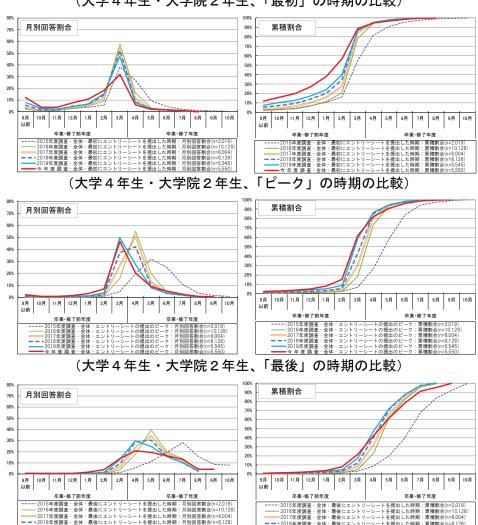
(大学院2年生)

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	24.3%	7.4%	8.4%	6.5%	6.7%	6.2%	8.2%	7.5%	12.3%	9.9%	1.4%	0.8%	0.2%	0.2%	0.0%	_
累積割合	24.3%	31.7%	40.1%	46.7%	53.4%	59.6%	67.8%	75.2%	87.6%	97.5%	98.9%	99.6%	99.8%	100.0%	100.0%	-
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	3.4%	2.0%	3.2%	2.3%	4.1%	5.2%	7.7%	11.3%	19.3%	28.8%	7.7%	2.3%	1.4%	1.0%	0.2%	0.0%
累積割合	3.4%	5.5%	8.7%	11.0%	15.0%	20.2%	27.9%	39.2%	58.5%	87.3%	95.0%	97.3%	98.7%	99.8%	100.0%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.1%	0.2%	0.4%	0.8%	1.5%	1.4%	4.9%	7.5%	17.0%	24.8%	11.6%	9.9%	9.1%	6.6%	1.1%	2.1%
累積割合	1.1%	1.3%	1.7%	2.5%	4.0%	5.4%	10.3%	17.8%	34.8%	59.6%	71.2%	81.0%	90.2%	96.8%	97.9%	100.0%

エントリーシート提出の時期

エントリーシート提出の「最初」と「ピーク」の時期は、広報活動開始時期である3月の回答割合がそれぞれ約3割・約5割と最も高く、「最後」の時期は4月が最も高く約2割となっている。

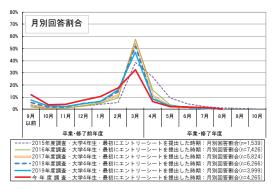
2015 年度~2019 年度と比較すると、「最初」と「最後」は最も回答割合の高かった提出時期の回答割合が低下している。「最初」「ピーク」「最後」いずれも全体的に時期が若干早まっている一方で、「最後」は7月以降の回答が増えている。



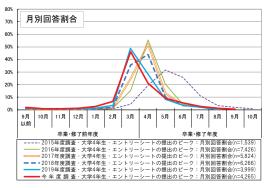
(大学4年生・大学院2年生、「最初」の時期の比較)

- (注1) エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外としている。
- (注2) 2015 年度~2018 年度の調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2019 年度・今年度調査では卒業・修了前年度の「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。ただし、2015 年度~2018 年度の調査との比較を行う上で、卒業・修了前年度の「6月以前」「7月」「8月」「9月」の回答を卒業・修了前年度の「9月以前」として再集計をしている。
- (注3) エントリーシートの提出とは、企業や官公庁などの採用選考に参加するための応募シートを提出することを指すものとし、就職情報会社のサイト等への登録のみの場合は提出数に入れないように、 回答者に案内した上で調査を行った。

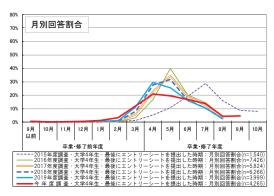
(大学4年生、「最初」の時期の比較)



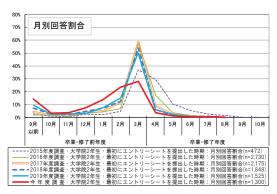
(大学4年生、「ピーク」の時期の比較)



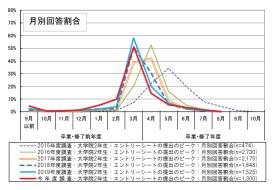
(大学4年生、「最後」の時期の比較)



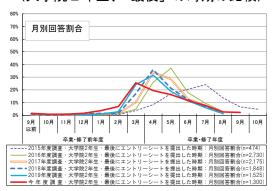
(大学院2年生、「最初」の時期の比較)



(大学院2年生、「ピーク」の時期の比較)



(大学院2年生、「最後」の時期の比較)



(大学4年生・大学院2年生)

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.3%	3.1%	1.7%	2.0%	3.7%	4.0%	7.5%	10.9%	18.3%	32.0%	6.0%	2.1%	1.8%	1.2%	0.2%	_
累積割合	5.3%	8.4%	10.1%	12.1%	15.9%	19.9%	27.4%	38.3%	56.7%	88.7%	94.7%	96.9%	98.6%	99.8%	100.0%	-
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.6%	0.8%	0.5%	0.3%	0.6%	0.7%	1.4%	3.0%	6.9%	46.6%	20.4%	8.8%	5.2%	2.6%	0.9%	0.4%
累積割合	0.6%	1.4%	2.0%	2.3%	2.9%	3.7%	5.0%	8.0%	15.0%	61.6%	82.0%	90.8%	96.1%	98.7%	99.6%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%	0.7%	1.7%	3.8%	13.7%	20.9%	19.3%	16.4%	13.2%	4.2%	4.5%
累積割合	0.2%	0.4%	0.6%	0.7%	1.1%	1.6%	2.3%	4.0%	7.8%	21.5%	42.4%	61.7%	78.1%	91.3%	95.5%	100.0%

(大学4年生)

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	4.8%	3.1%	1.8%	2.2%	3.8%	4.1%	7.5%	10.5%	17.6%	32.5%	6.3%	2.3%	2.0%	1.3%	0.2%	-
累積割合	4.8%	7.9%	9.7%	11.9%	15.7%	19.7%	27.2%	37.8%	55.4%	88.0%	94.3%	96.6%	98.5%	99.8%	100.0%	-
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.5%	0.7%	0.5%	0.3%	0.6%	0.7%	1.3%	2.7%	6.5%	46.0%	21.2%	9.2%	5.4%	2.7%	1.0%	0.5%
累積割合	0.5%	1.2%	1.7%	2.0%	2.6%	3.3%	4.6%	7.4%	13.9%	59.9%	81.1%	90.4%	95.8%	98.5%	99.5%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%	0.6%	1.5%	3.4%	12.1%	21.1%	19.7%	17.0%	13.9%	4.5%	4.8%
累積割合	0.2%	0.4%	0.5%	0.6%	1.0%	1.4%	2.0%	3.5%	6.9%	19.0%	40.1%	59.8%	76.8%	90.8%	95.2%	100.0%

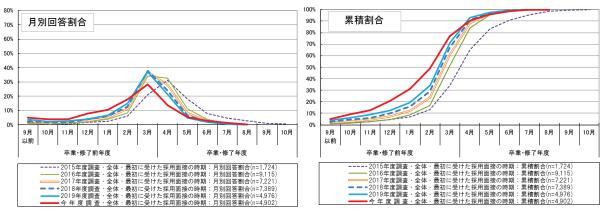
(大学院2年生)

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	9.3%	2.9%	1.1%	0.9%	3.3%	3.5%	7.6%	13.9%	23.6%	27.9%	3.8%	1.3%	0.4%	0.5%	0.0%	_
累積割合	9.3%	12.1%	13.2%	14.2%	17.4%	20.9%	28.5%	42.5%	66.0%	94.0%	97.7%	99.1%	99.5%	100.0%	100.0%	_
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.6%	1.3%	1.0%	0.7%	0.7%	0.6%	1.8%	5.2%	10.1%	51.0%	14.6%	5.8%	3.6%	1.6%	0.3%	0.1%
累積割合	1.6%	2.9%	3.9%	4.6%	5.3%	6.0%	7.8%	13.0%	23.1%	74.1%	88.6%	94.4%	98.0%	99.6%	99.9%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.6%	0.3%	0.1%	0.6%	0.7%	0.7%	1.4%	3.5%	6.8%	25.4%	19.5%	16.3%	11.7%	7.7%	2.5%	2.3%
累積割合	0.6%	0.8%	0.9%	1.5%	2.2%	2.9%	4.3%	7.8%	14.6%	40.0%	59.6%	75.9%	87.6%	95.2%	97.7%	100.0%

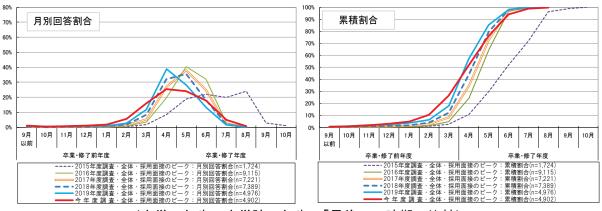
採用面接の実施時期

採用面接を受けた「最初」の時期は広報活動開始時期である3月、「ピーク」の時期は採用選考活動開始時期前の4月、「最後」の時期は6月が最も回答割合が高くなっている。 2015 年度~2019 年度と比較すると、全体的に時期が若干早まっていると同時に、特に「最後」については7月以降の回答割合が高くなっている。

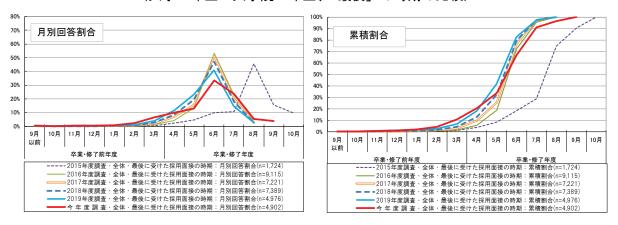
(大学4年生・大学院2年生、「最初」の時期の比較)



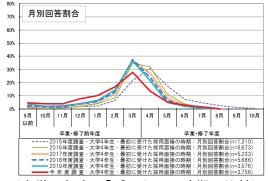
(大学4年生・大学院2年生、「ピーク」の時期の比較)



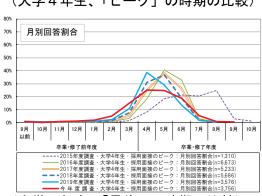
(大学4年生・大学院2年生、「最後」の時期の比較)



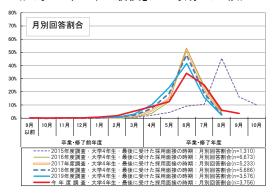
(大学4年生、「最初」の時期の比較)



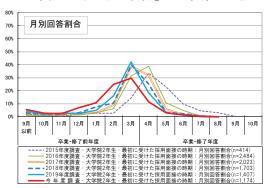
(大学4年生、「ピーク」の時期の比較)



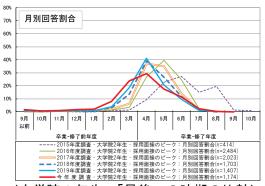
(大学4年生、「最後」の時期の比較)



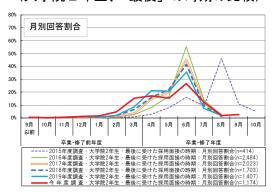
(大学院2年生、「最初」の時期の比較)



(大学院2年生、「ピーク」の時期の比較)



(大学院2年生、「最後」の時期の比較)



- (注1)採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外としている。
- (注2) 2015 年度~2018 年度の調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2019 年度・今年度調査では卒業・修了前年度の「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。ただし、2015 年度~2018 年度の調査との比較を行う上で、卒業・修了前年度の「6月以前」「7月」「8月」「9月」の回答を卒業・修了前年度の「9月以前」として再集計をしている。
- (注3) 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。
- (注4)「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に「採用面接」 だと感じた場合は、当該接触を「採用面接」と考えて回答いただくよう案内した上で調査を行った。

(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.4%	1.2%	1.0%	1.4%	3.9%	4.0%	7.9%	10.3%	17.7%	28.2%	13.6%	5.2%	2.7%	1.3%	0.2%	_
累積割合	1.4%	2.6%	3.6%	5.0%	8.9%	12.9%	20.7%	31.1%	48.8%	76.9%	90.5%	95.7%	98.4%	99.8%	100.0%	-
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.2%	0.2%	0.4%	0.1%	0.3%	0.8%	1.2%	1.8%	5.5%	16.0%	25.6%	24.1%	17.8%	5.0%	0.7%	0.3%
累積割合	0.2%	0.4%	0.8%	0.9%	1.2%	2.1%	3.3%	5.0%	10.6%	26.6%	52.1%	76.2%	94.0%	99.0%	99.7%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.4%	0.5%	1.0%	2.1%	6.6%	9.8%	13.0%	33.4%	23.7%	5.5%	3.7%
累積割合	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.8%	1.3%	2.3%	4.4%	11.0%	20.8%	33.7%	67.1%	90.9%	96.3%	100.0%

(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.3%	1.1%	1.0%	1.5%	4.1%	4.2%	8.0%	10.3%	16.8%	27.9%	13.8%	5.5%	2.8%	1.5%	0.3%	_
累積割合	1.3%	2.4%	3.4%	4.9%	9.0%	13.1%	21.1%	31.4%	48.2%	76.1%	89.9%	95.4%	98.3%	99.7%	100.0%	_
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.3%	0.8%	1.1%	1.7%	5.2%	14.9%	25.1%	24.9%	18.6%	5.4%	0.8%	0.4%
累積割合	0.2%	0.4%	0.7%	0.8%	1.1%	1.9%	3.0%	4.7%	10.0%	24.9%	49.9%	74.9%	93.5%	98.9%	99.6%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.4%	0.4%	0.9%	1.8%	5.4%	8.8%	12.6%	34.3%	25.3%	6.0%	3.8%
累積割合	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.8%	1.2%	2.1%	3.9%	9.3%	18.1%	30.7%	64.9%	90.2%	96.2%	100.0%

(大学院 2 年生、公務員・教職員志望者除く)

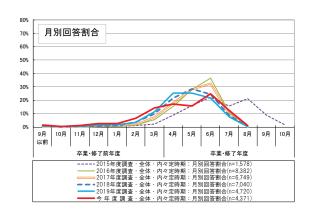
最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	2.2%	1.6%	0.8%	1.1%	2.6%	2.6%	6.9%	10.8%	24.8%	29.7%	11.7%	3.3%	1.5%	0.3%	0.1%	_
累積割合	2.2%	3.8%	4.6%	5.7%	8.4%	10.9%	17.8%	28.6%	53.4%	83.1%	94.8%	98.1%	99.6%	99.9%	100.0%	_
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.1%	0.2%	1.0%	0.2%	0.6%	1.1%	1.9%	2.2%	8.0%	23.7%	29.3%	17.5%	11.4%	2.4%	0.4%	0.0%
累積割合	0.1%	0.4%	1.4%	1.6%	2.2%	3.3%	5.2%	7.3%	15.3%	39.0%	68.3%	85.8%	97.2%	99.6%	100.0%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.2%	0.6%	1.2%	1.4%	4.8%	15.3%	17.2%	15.5%	26.8%	12.3%	1.7%	2.6%
累積割合	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%	0.7%	1.2%	2.4%	3.8%	8.6%	23.8%	41.1%	56.6%	83.3%	95.6%	97.4%	100.0%

内々定を受けた時期

最初に内々定を受けた時期は、採用選考活動開始時期である6月の回答割合が約2割と 最も高くなっている。過年度に比べ、4~5月の回答割合が低下している。

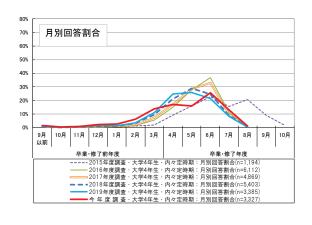
就職予定の企業からの内々定の時期を、その企業に対する志望度別に集計すると、いずれの場合も、採用選考活動開始時期である6月の回答割合が最も高くなっている。

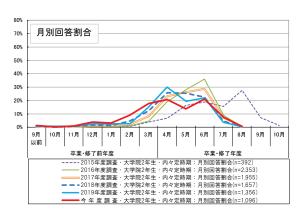
(大学4年生・大学院2年生、最初の内々定の時期の比較)



(大学4年生、最初の内々定の時期の比較)

(大学院2年生、最初の内々定の時期の比較)





- (注1) 内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。
- (注2) 公務員や教職員志望者は除いて集計した。
- (注3)「最初に内々定を受けた時期」は、1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から 内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。
- (注4)「就職予定の企業からの内々定の時期」は、1社から内々定を受けた者はその企業に就職予定であると回答した場合、及び、複数社から内々定を受けた者は就職予定の企業に関して、内々定を受けた時期に関する回答結果を集計した。

(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.1%	0.2%	0.6%	0.4%	0.9%	2.4%	2.5%	6.7%	14.3%	17.3%	15.5%	24.9%	12.4%	1.1%
累積割合	0.7%	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%	2.9%	5.3%	7.8%	14.5%	28.7%	46.0%	61.6%	86.5%	98.9%	100.0%

(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)

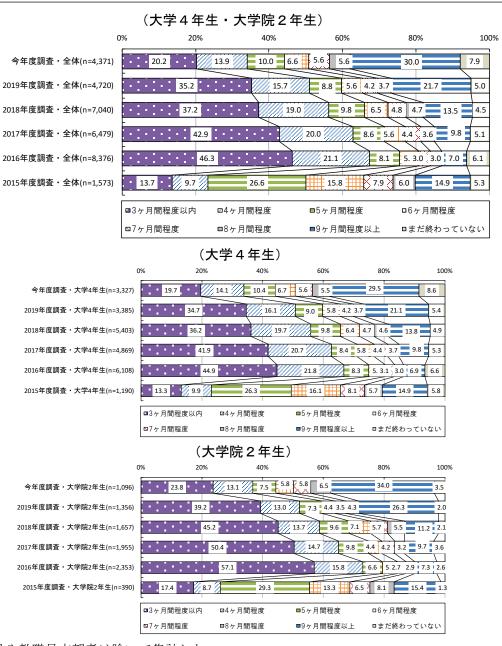
	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.2%	0.1%	0.5%	0.5%	0.9%	2.2%	2.4%	6.3%	13.7%	16.8%	15.8%	25.5%	13.1%	1.2%
累積割合	0.7%	0.9%	1.0%	1.5%	2.0%	2.9%	5.1%	7.5%	13.9%	27.6%	44.4%	60.2%	85.7%	98.8%	100.0%

(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

	6月以前	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.0%	0.4%	0.6%	0.2%	1.1%	3.8%	3.1%	8.9%	17.9%	20.8%	13.7%	21.0%	7.5%	0.5%
累積割合	0.4%	0.4%	0.8%	1.4%	1.6%	2.7%	6.6%	9.7%	18.6%	36.5%	57.2%	70.9%	91.9%	99.5%	100.0%

就職活動の始まりから終わりまでの期間

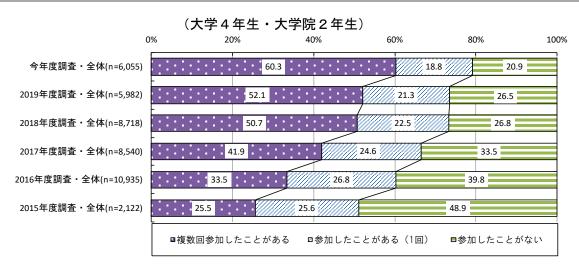
就職活動の始まりから終わりまでの期間について、「9ヶ月間程度以上」の回答割合が最も高く、約3割となっている。2016年度~2019年度と比較すると、「3ヶ月間程度以内」の割合は低下しており、採用選考活動開始時期が卒業・修了年度の8月とされていた2015年度と比べても、より長い期間就職活動を行っていた傾向がみられる。

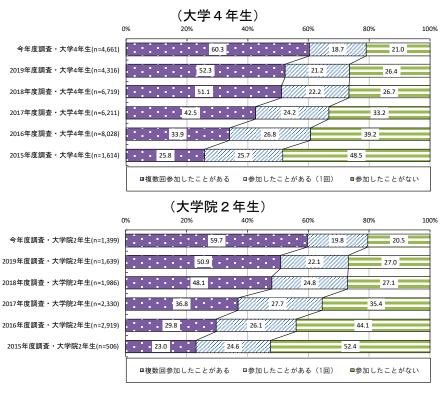


- (注1) 公務員や教職員志望者は除いて集計した。
- (注2)「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間を集計しており、例えば始まったと考える時期を「3月」、終わったと考える時期を「6月」と回答した場合は、「3ヶ月間程度」として集計している。
- (注3)「始まったと考える時期」「終わったと考える時期」ともに、2015年度~2018年度の調査では卒業・ 修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2019年度調査と今年度調査では卒業・ 修了前年度の「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。比較を行う上では、分類 がそろうように再集計をしている。

インターンシップ参加経験の有無

インターンシップの参加経験について、約8割が「複数回」又は「1回」参加したことがあると回答している。2015年度以降、この割合は上昇傾向にあるが、今年度は特に「複数回参加したことがある」と回答した割合が高くなっている。



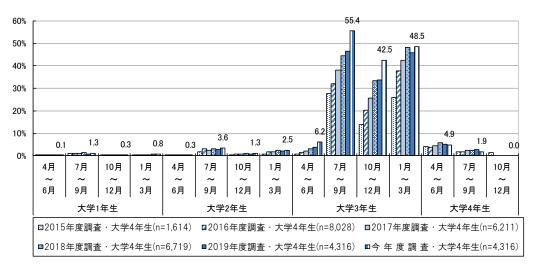


(注) インターンシップに関する設問については、2016 年度~今年度の調査では「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」のいずれかを回答した者を集計対象とし、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は対象外としている。2015 年度調査については「就職活動を行った」と回答した者を集計対象とし、「就職活動を行わなかった」と回答した者は対象外としている。

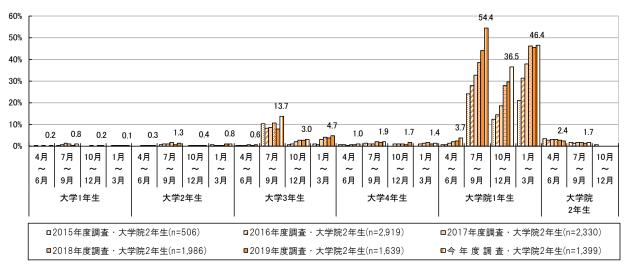
<u>インターンシップ参加時期</u>

インターンシップ参加の時期について、大学3年生・大学院1年生の「7月~9月」と「1月~3月」の回答割合が5~6割と高くなっている。過年度と比較すると、今年度は大学3年生・大学院1年生の「7月~9月」「10月~12月」「1月~3月」の回答割合が上昇している。

(大学4年生)



(大学院2年生)

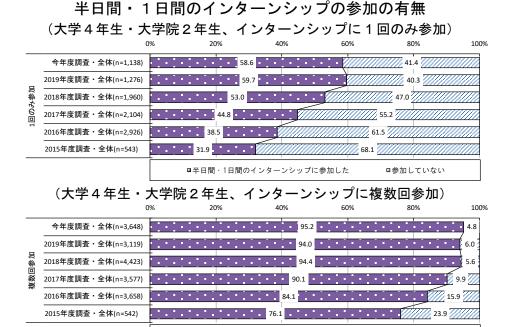


(注)複数回答により参加時期を回答する設問で、回答割合を算出するにあたり、集計対象にインターンシップに参加したことがない者も含んでいる。

半日間又は1日間のインターンシップの参加状況

半日間又は1日間のインターンシップへの参加について、インターンシップに1回のみ参加した者では約6割、複数回参加した者では9割以上が参加しており、2019年度と比べると、1回のみの者では若干低下、複数回参加した者では若干上昇している。

また、全てのインターンシップ参加の機会のうち、半日間又は1日間のインターンシップが占める割合は約8割であり、過年度と比べてこの割合は上昇している。

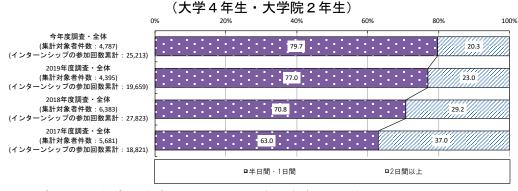


(注1) 2015 年度~2018 年度の調査では参加したインターンシップの最短の日数を1日単位の数字で回答されたものから1日間のインターンシップの参加の有無について判断し、集計をした。2019 年度・今年度調査ではあらかじめ選択肢を設定し、参加したことがある日数の回答について集計をした。「半日」の分類は今年度調査についてのみ把握・集計を行うことができるものとなっている。

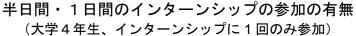
■半日間・1日間のインターンシップに参加した

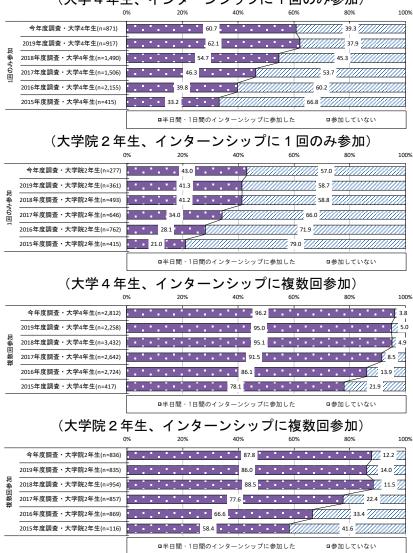
□参加していない

参加したインターンシップが半日間・1日間のインターンシップであった割合 (インターンシップの参加回数累計による集計)

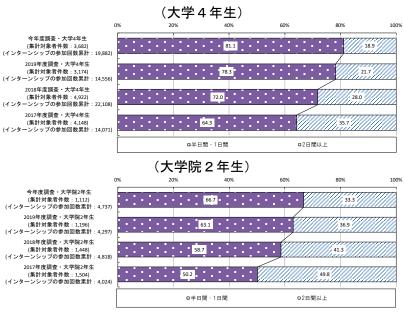


(注2) 2015年度・2016年度は当該設問について調査を実施していない。





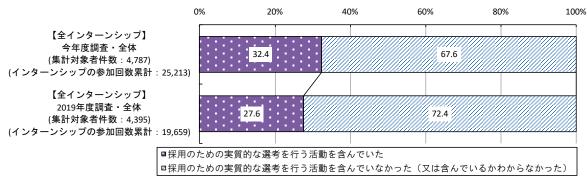
参加したインターンシップが半日間・1日間のインターンシップであった割合 (インターンシップの参加回数累計による集計)

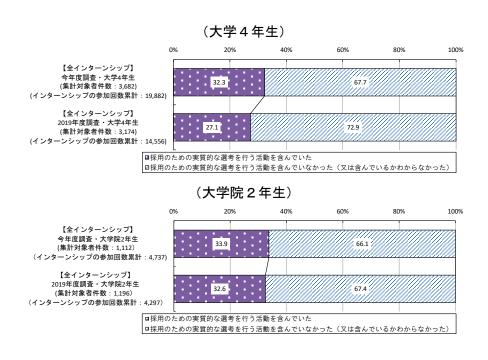


インターンシップにおける実質的な選考実施の有無

参加したインターンシップが採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいたかにつ いて、約3割が「実質的な選考を行う活動を含んでいた」と回答している。2019年度と比 べると、この割合は若干上昇している。

インターンシップにおける実質的な選考実施の有無 (参加したインターンシップの回数累計による集計) (大学4年生・大学院2年生)





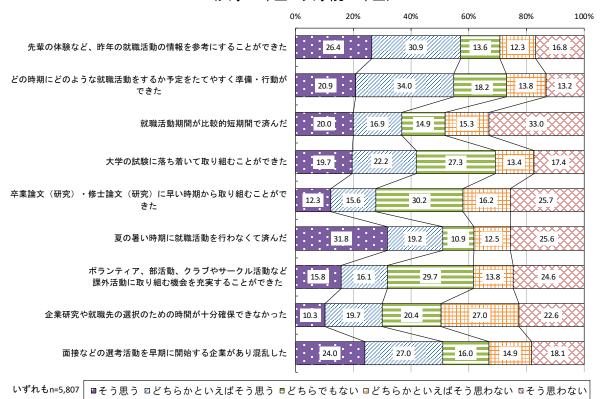
- (注1) 2015 年度~2018 年度の調査では当該設問について調査を実施していない。
- (注2)「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、インターンシップの参加が採用面接を受けるため の必須条件になっていたり、インターンシップの結果が内々定の獲得に影響したりすることとして 考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。また、終了後にインターンシップ参加 者だけの説明会に呼ばれたという場合等も含むよう案内をした。

就職活動時期に関する認識

就職活動時期が昨年度と同様の時期(広報活動開始:卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始:卒業・修了年度の6月1日以降)に設定されたことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」では「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」との回答割合が約6割、「予定をたてやすく準備・行動ができた」、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」では約5割となっている。

	大学4年生・大学院2年生全体の回答						
調査項目	「そう思う」+ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」+ 「どちらかといえばそう思わない」					
昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	57.3%	29.1%					
予定をたてやすく準備・行動ができた	54.8%	27.0%					
就職活動期間が比較的短期間で済んだ	36.9%	48.3%					
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	51.0%	38.1%					
選考活動を早期に開始する企業があり混乱した	51.0%	33.0%					

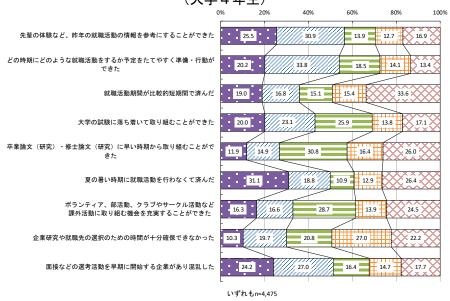
(大学4年生・大学院2年生)



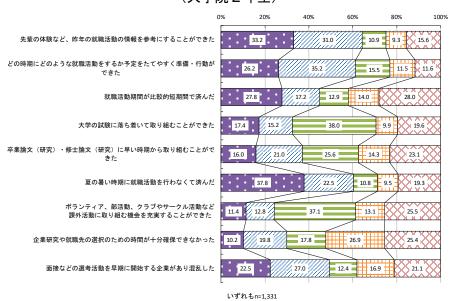
(注) 四捨五入により、複数の選択肢の回答を合わせた結果について、グラフに掲載した個々の選択肢の回答割合を足し合わせたものと小数点以下第1位の値が一致しない場合がある。

	大学4年	生の回答	大学院2年生の回答					
調査項目	「そう思う」+ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」+「どちらか といえばそう思わない」	「そう思う」+ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」+「どちらか といえばそう思わない」				
昨年の就職活動の情報を 参考にすることができた	56.4%	29. 7%	64.2%	24.9%				
予定をたてやすく準備・行動が できた	54.0%	27.5%	61.4%	23.1%				
就職活動期間が比較的短期間で 済んだ	35.8%	49.1%	45.0%	42.0%				
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	49.8%	39.3%	60.4%	28.8%				
選考活動を早期に開始する企業が あり混乱した	51.2%	32.3%	49.5%	38.1%				





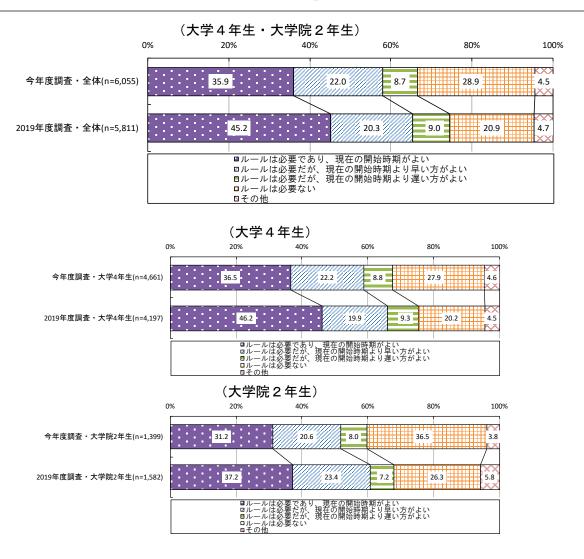
(大学院2年生)



(注) 四捨五入により、複数の選択肢の回答を合わせた結果について、グラフに掲載した個々の選択肢の回答割合を足し合わせたものと小数点以下第1位の値が一致しない場合がある。

就活ルールに関する考え

就職・採用活動開始時期、いわゆる「就活ルール」(広報活動開始:卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始:卒業・修了年度の6月1日以降)に関する考えについて、「ルールが必要」の回答割合は約7割となっている。そのうち、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」の回答割合が最も高く、全体の約4割となっている。2019年度調査と比較すると、「ルールは必要ない」の割合が高くなっている。

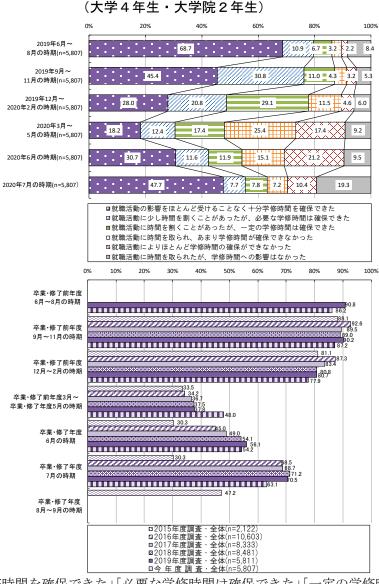


(注) 2015 年度~2018 年度の調査では当該設問について調査を実施していない。

就職活動と学修時間確保の状況

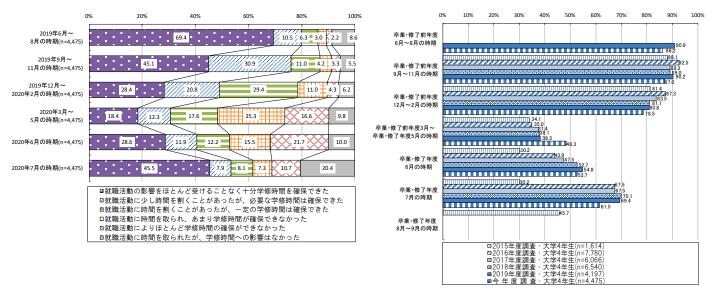
「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確 保できた」のいずれかを回答した割合は、広報活動開始時期前の2月までは約8割~9割 と高いが、広報活動開始時期後の3月~5月や採用選考活動開始時期後の6月には約5割 まで低下し、7月には約6割へと上昇している。

2016年度~2019年度と比較すると、卒業・修了前年度の3月~卒業・修了年度の5月に ついては、学修時間が確保できたとの回答割合が上昇し、6月・7月では低下している。



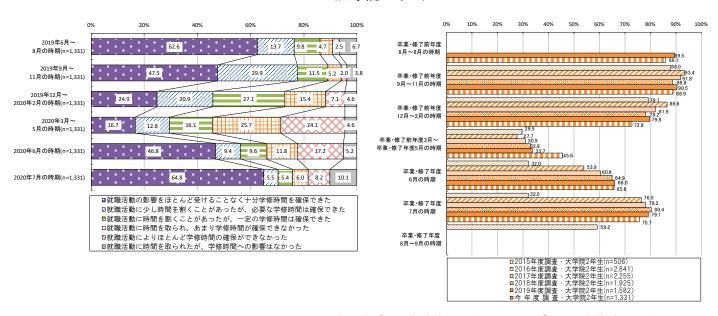
- (注1)「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」 のいずれかを回答した割合
- (注2)「卒業・修了前年度6月~8月の時期」に関する項目は、2015年度~2018年度の調査では設 定していない。
- (注3) 卒業・修了年度の「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月~7月の時期」とし て調査を実施(図表にはそれぞれ同じ値を掲載)

(大学4年生)



- (注1)「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」 「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合
- (注2)「卒業・修了前年度6月~8月の時期」に関する項目は、2015年 度~2018年度の調査では設定していない。
- (注3) 卒業・修了年度の「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は 「6月~7月の時期」として調査を実施(図表にはそれぞれ同じ 値を掲載)

(大学院2年生)

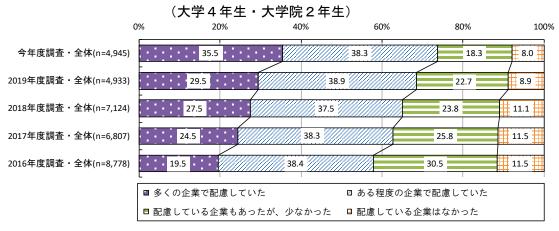


- (注1)「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」 「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合
- (注2)「卒業・修了前年度6月~8月の時期」に関する項目は、2015年 度~2018年度の調査では設定していない。
- (注3) 卒業・修了年度の「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は 「6月~7月の時期」として調査を実施(図表にはそれぞれ同じ 値を掲載)

企業による学生の学業等への配慮

学生の学業等への配慮について、「よくわからない」と回答した者を除くと、説明会や面接等の日程に関しては約7割、個別の面接日時等の設定に関しては約8割が、「多くの企業」又は「ある程度の企業」で、企業から配慮がされていたと回答している。2016年度~2019年度に比べ、この割合は上昇している。

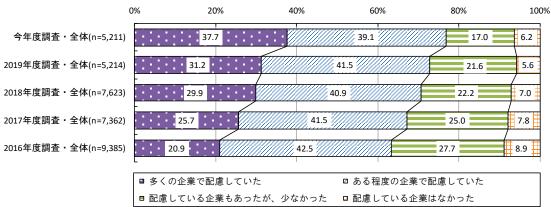
説明会や面接等の日程・時間帯等



- (注1) 就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問への回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。
- (注2) 2015 年度は当該設問について調査を実施していない。

個別の面接日時等

(大学4年生・大学院2年生)

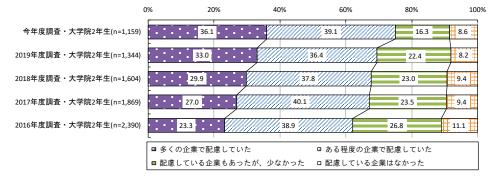


- (注1) 就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨 げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程 の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問へ の回答で、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。
- (注2) 2015 年度は当該設問について調査を実施していない。

説明会や面接等の日程・時間帯等

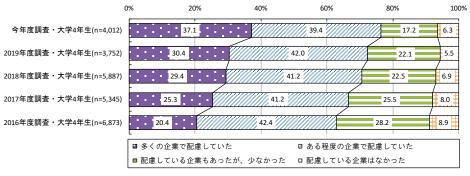
(大学4年生) 0% 60% 80% 100% 38.1 今年度調査・大学4年生(n=3.800) 35.4 18.6 7.9 2019年度調査・大学4年生(n=3.562) 39.2 22.7 9.0 2018年度調査・大学4年生(n=5,499) 37.5 24.0 11.3 2017年度調査・大学4年生(n=4,946) 38.0 26.1 11.7 2016年度調査・大学4年生(n=6,428) 38.4 31.0 11.6 ■ 多くの企業で配慮していた ☑ ある程度の企業で配慮していた ■ 配慮している企業もあったが、少なかった □ 配慮している企業はなかった

(大学院2年生)

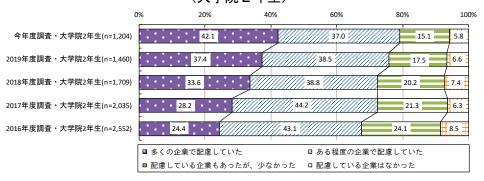


個別の面接日時等

(大学4年生)



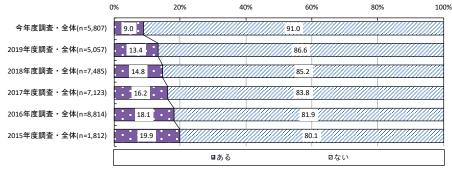
(大学院2年生)



他の企業等への就職活動の終了を強要する ハラスメント的な行為(いわゆる「オワハラ」)の有無

いわゆる「オワハラ」を受けた経験について、約1割が「ある」と回答しており、2015 年度調査~2019年度調査と比較すると低下している。

企業から「オワハラ」を受けた経験の有無 (大学4年生・大学院2年生)

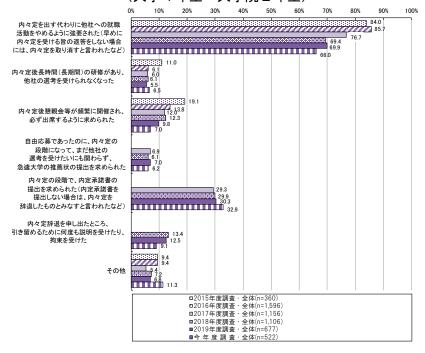


(注) 内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

「オワハラ」の内容

「オワハラ」の内容は、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された(早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど)」との回答割合が約7割となっている。

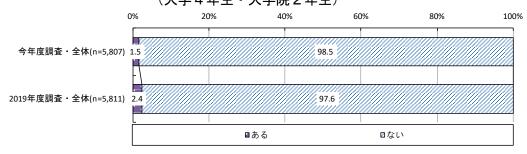
「オワハラ」の内容 (大学4年生・大学院2年生)



セクシュアルハラスメント行為の有無

就職活動の過程でセクシュアルハラスメント行為を受けた経験について、「ある」の回答割合は約1.5%となっている。

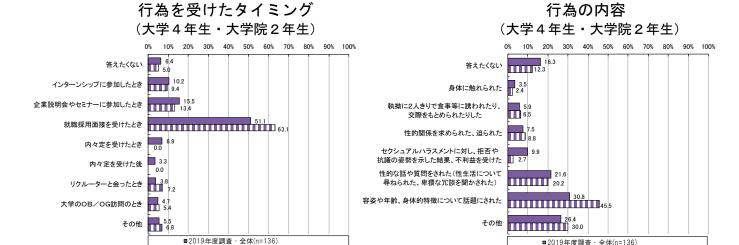
セクシュアルハラスメント行為を受けた経験の有無 (大学4年生・大学院2年生)



セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング・内容

セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミングは、「就職採用面接を受けたとき」の 回答が約6割、「企業説明会やセミナーに参加したとき」が約1割となっている。

行為の内容は、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約5割、「性的な話 や質問をされた(性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた)」が約2割となっ ている。



(注) 2015 年度~2018 年度の調査ではセクシュアルハラスメント行為に関する各設問について調査を実施 していない。

■今年度調査・全体(n=84)